

採用担当者に聞きました！

採用担当者が応募者のどんなところを見て、どんな人を採用したいと考えているのか、「生の声」を聞いてみました。

Q

面接などにおいてマイナスポイントになる発言や行動はありますか。

- 謙虚さが感じられない。
- 服装の身だしなみが悪い。
- 態度や受け答えにおいて丁寧さがない。

Q

応募者によくする質問を教えてください。

- なぜ、うちの事業所を選びましたか？
- うちの事業所に来て何をしたいですか？
- 5年後のイメージはありますか？
- 介護の仕事を一生懸命していても、利用者に怒鳴られることもあります。そのとき、あなたはどのように感じてどう接しますか？
- (志望動機が介護が好き。お年寄りが好きという方に) なぜ介護が好きですか？お年寄りのどういうところが好きですか？

Q

資格や経験がない方の場合、どのようなアピールができれば採用に結びつきやすいですか。

「介護するのが好き」「少しずつできることを増やしたい」「辛抱強く頑張りたい」「一生の仕事にしたい」といったことをアピールされたときに、本心から言っていることが見えたら採用に結びつきやすい。

採用するかどうかのポイント

- 面接では「この人は利用者さんにどういう態度で接してくれるだろうか」を考えながら人柄をみる。誰に対しても丁寧に対応できる方がよい。
- 思いどおりにならない時、自分の意見を修正することも必要。我慢強いことはアピールポイントになる。
- チームケアをするので十分な介護技術や資格をもっている自己主張が強い方は採用が難しい。
- 受け答えに自分の長所をうまく盛り込んでいる。
- 事業所のことをよく調べてきている。理念に共感している。(事前に法人理念などを調べて志望動機などに盛り込んでいる。)
- とりつくるわずに本音で答えている。(本音と思えない模範解答はすぐわかってしまう)
- 福祉に対する熱い思いが伝わってくる。
- 応募した理由をきちんと説明できる。